

特定非営利活動法人 太陽と緑の会

かわら版

目次

巻頭コラム 杉浦 良
詩 米田 太／お知らせと出来事
投稿コーナー 田所 健太郎
桑内 一典
月の宮日記 益田 弘／協力者名簿
メンバー投稿 大和麻耶他／編集後記

2004 2 NO 104

巻頭コラム (杉浦 良)

「スタッフを辞めてください！」一人のメンバーから言葉が発せられました。朝ミーティングは、体調チェックと今日の作業について、一人一人のメンバー達から発言してもらうと同時に、スタッフからも今日の作業内容、予定等をみんなに伝える場所です。私達太陽と緑の会は、現在2箇所の障害者地域共同作業所を運営しています。普通は、作業所の利用者とか、園生とか、生徒とか、通所者とか呼ばれている人達と、それを指導監督する立場の、職員とか、指導員とか、先生とか呼ばれている人達で、成り立っている地域共同作業所ですが、1984年のスタート以来、あえて、メンバーとスタッフという呼び方をしてきました。最初は、この言葉にアレルギーを示される方や、はじめがつきにくいといわれる方も多かったわけですが、かれこれ20年近くもこの呼び名を使っていると、たまに先生とか指導員とか呼ばれると、こそばゆいやら恥ずかしいやらで、どうも居心地が悪くなるのは不思議なものです。現在は『共同作業所』にしていますが、かれこれ15年近く『共同作業所』と名乗ってきました。『共に同じ』ではなく、『共に働く』という意味合いのほうがピッタリしていると思ったからです。徳島県では、1999年に、それまで使っていた心身及び精神障害者小規模作業所という呼び名をやめ、障害者地域



絵 走川君

共同作業所に変更しました。三障害を纏めたことと、『地域』というキーワードを滑り込ましたこの英断に、エールを送る意味で、現在はこの言葉を使っています。

「スタッフを辞めて、一人の店員として、再出発してください！」そう言葉を絞り出しながらAさんは言いました。

「早ようせい！とかいろいろ言うけど、SさんにはSさんなりのやり方があるし・・・お客さんにもっときちんとした対応をしてもらわなかったら・・・ここが潰れたらわしら行くところがなくなって、どうしてくれるんな・・・もっとしっかりしてください。」話がいろいろとんでも、言いたい気持ちを言葉に込めるBさんです。

「*****

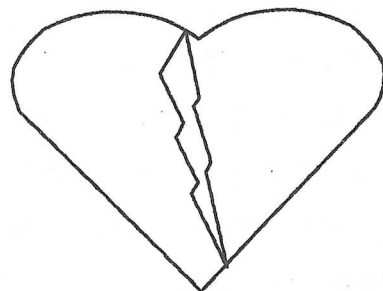
*」話があっちこっちにとんで、言葉として表すと意味が伝わらないCさんがいました。私が勝手に翻訳すると「いろいろ偉そうに言うけど、あんたはスタッフの中では最低です！一から出直してください！」

「ここは税金で運営されているところではない！とあるスタッフが言っていました。もっとしっかり作業をしてください。」Dさんが緊張した体から、言葉を紡ぎます。(全運営費に占める公的資金の占める率は一割強ということ) 次々と言葉を発するメンバーひとりひとりの顔を眺めながら、何やら嬉しくなってしまう『私』がありました。ここしばらく随分あれこれ思いあぐねていたことだけに、ある種の緊張の糸がプツンと切れる瞬間と、それぞれのメンバーひとりひとりの成長振りを、改めて感じさせられるその瞬間が重なりました。『どうしようもない』と言われてきたメンバー達が、ほんまにどうしようもない新人スタッフを、これほどきちんと新人研修できることの素晴らしさに、彼らの存在の凄さを感じずにはおれません。『この凄さ』を研ぎ澄ませていくための努力を怠ったら、ここはお仕舞いかもしれない・・そうメンバーひとりひとりに突きつけられた気がしてたまりません。「自分がメンバーより上だと思っているうちは、ダメですね・・！」先輩のスタッフは、そっと呟きました。試練を乗り越えるのはメンバーだけではありません。スタッフも同じように試練を乗り越えていく必要があるという基本原則でしょうか。。。。

捨ててしまえや その気持ち

米田 太

捨ててしまえや
その気持ち
捨てにくい
あんたといった時間
捨ててしまえや
後ろ向きな気持ち
時には
捨ててしまえや
楽になるから
いいじゃん
片思いで
いいじゃん
1ミリもやさしさ
捨てたから
いいじゃん
前向きに
片思いしても
だれも笑われなせ
しょうがないじゃん
バカみたいに
片思いしてるから
仕事しながら
そのうち
冷めるからよ
俺 後悔ないから
胸張れるから



お知らせ

子供たちの体験ボランティア

12月7日、13日、14日の3回に渡り、午前9時から午後12時まで、徳島市内の計18名の小中学生が太陽と緑の会のリサイクル活動を体験しました。

NPO法人徳島共生塾一歩会が、徳島市の助成を受け、徳島県内5箇所（うち徳島市内4箇所）のNPO法人の活動を徳島市内の小中学生に体験してもらうプログラムを企画、太陽と緑の会もその受け入れ活動先のひとつとして協力させて頂きました。

子供達をはじめ、徳島共生塾一歩会の方、市役所の職員の方が参加され、不用品の回収作業、衣料品の作業、古紙の積み込み搬入作業など、リサイクルの日常活動を体験して頂きました。

体験終了後は好きなリサイクル品を記念品として選んで頂きましたが、雑貨が好きな人もいれば、本を選んだ人もいて、選び方にもそれぞれの個性が感じられました。短い時間ではありましたが、これを機会にまた遊びに来て頂けたら、と思います。

手作りの忘年会

12月6日、徳島市郊外にある太陽と緑の会月の宮共同生活棟にて、恒例の手作り忘年会を行いました。メンバー、スタッフ、ボランティア約30名が参加しました。日頃自宅から通っているメンバーにとっては、親もとを離れての宿泊トレーニングも兼ねています。

今回のメニューの中心となったのは石狩鍋。シャケは、一昨年の一年間ボランティアである樋詰昌浩君が北海道から送って下さいました。ありがとうございました。

ボランティア参加

●11月15日、健祥会専門学校の

学生さん3名。午前9時～午後6時。

●12月27日夜、ボランティアの小林由美さんがお鍋いっぱい豚汁を作って持ってきて下さいました。翌28日、昼食のときに皆で頂きました。ありがとうございました。

月の宮作業所出店

●11月15日、徳島市内の障害者地域共同作業所「ほっとハウス」祭り

●11月16日、藍住町吉野川北岸名田橋下公園にて、ドッグスポーツクラブ訓練競技会

●11月22日、平成15年度人権フェスティバルのバザー

以上のイベントにて、作業所の畑で取れた無農薬の農産物などを販売

会議 講演

●9月7日～10日、青年長期ボランティアの中間研修が、東京の国立オリンピック記念青少年総合センターにて開催。社団法人日本青年奉仕協会から太陽と緑の会に、青年長期ボランティアとして派遣されている田崎君も参加。

●11月8日、9日、第3回とくしまNPOフォーラム「市民活動の地域力を向上するために」が徳島大学常三島キャンパスにて開催、約200名の方が参加。太陽と緑の会からは専任職員の小山と木村が参加。

小山は第1分科会「NPOって何？ 基礎知識から運営まで」にてNPO法人太陽と緑の会の運営について40分にわたり事例報告。

●11月20日、太陽と緑の会代表の杉浦が、徳島県立城北高校（徳島市）にて講演。小体育館に高

校2年生と先生合わせて380人が集まり、液晶プロジェクターによる映像も交えながら、約1時間ほど太陽と緑の会の活動についての話をさせて頂きました。

●11月29日、30日の2日間に渡り、高知市内において、「第2回四国NPOフォーラム」が開催されました。分科会1「人が輝く組織マネジメント～活動が活性化するために～」において、太陽と緑の会専任スタッフの小山が事例報告。

●12月16日午後6時～7時30分、徳島市市民活力開発センターにて説明会が開催され、徳島市内のNPO関係者など27名の方が参加。太陽と緑の会からは専任職員の小山が出席。

見学 来所

●10月31日、京都の知的障害児入所施設の白川学園（京都）から、指導員2名、園生5名の計7名の方が月の宮生活棟に宿泊、翌朝高知県へ向かいました。

●12月1日、2日、富山テレビ放送の方2人が取材のため太陽と緑の会に来られました。先の10月24、25日に富山で「第2回ごみゼロ推進全国大会」（昨年は徳島で開催）が開催されましたが、これを受けて、今回ごみゼロ推進の先進取り組み事例として全国から10箇所取り上げて紹介する番組を作成されるということです。

その他

●11月14日、月の宮生活棟で飼っていたイヌの大五郎が死去。

●12月29日～1月4日、冬期休業

旧制徳島中学校～第六高等学校時代

中学は千人位居たし、とんでもない大きい所へ来たと言う気があり、高等学校は岡山へ行き、これ又新しい経験だからその都度びっくりしながら慣れて行った。

中学校の時、入田から県庁の東まで通っていたけれど、身体も小さいし、自転車に乗れないので、女子用のを買ってもらって練習してやっと乗れるようになって通い始めた。学校へ入る前にペン試運転で、八万の今の福万の辺、道路一本だけ高くして後両側は全部田んぼばかりで、帰り道、向こうから馬車が来て、それをよけようとして土手から田んぼの中へ転げ落ちて新調の靴もズボンも泥だらけにした。朝、雨で合羽を着ていてもびしょ濡れになる。着替える訳にいかないし、濡れたまま授業を受けて帰る時には体温で乾いている。学校まで丁度一時間位かかるんだけど、雨の日も風の日も通って、風の強い時なんか踏んでも動かないんだよね。だからいやになった。一番いやなのは、朝、時間が無くて雨の中を飛ばして行くのにチェーンが折れたり、パンクしたり、本当に泣きたくなくて行ったのが一番強い刺激だった。雨が降って来るのが非常に嫌いだった。

それが身体のためには非常に良かったね。それで身体を鍛えられた。精神的にも鍛えられたと思う。否応無しにそれが五年続いたので結果的に言えば良かったと思う。

市内の子供が歩いて通っているのを見て、「いいなあ。」と思って羨ましかった。ところが、僕より一世代前の人達は（遠くても）歩いて通った。わらし履きで、朝暗い内に起きて、歩けば三時間近く掛かるだろうね。片道ね。それを五年間歩き通して卒業した人がある。その人も医者になったけれどね。

だからその時の事を考えたら今楽なものだと思う。今みたいに自動車が無くて良かったけどね。

母が早く亡くなって（中学三年の時）自分の事は自分でしなければならなくて、中学もそのようにして通ったので肉体、精神的に鍛えられた。「自分自身に頼るより仕方が無い。人をあてにしない。」と言う気持ちが出て来た。

高等学校へ入る時に理学的な法へ進みたかった

ので、そちらの方を選んだのだけれど、数学ができないんだ。さっぱり。高等数学、微分積分になると、何の事はない。さっぱり分からなくて、今だに大学の入学試験の夢を時々見る。だから理学の方はダメだ。それに対して植物だとか動物だとか生物学の方は非常に面白くて興味があった。「やっぱり医者だな。」と思っていたし、自分もそう思っていた。スムーズに行っただと言う所だろうな。そうだ。親はやっぱり医者になれと言っていた。「理学方面に進みたい。」と言った時、反対はしなかったけれど、親としては医者になってもらいたいと言う、そういう雰囲気だった。

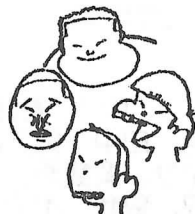
以下 次号

ふと立ち止まって

縁あってこの太陽と緑の会に昨年5月より活動に参加してスタッフとして回収や外回りなどを中心に活動していますがここには本当に縁があつて来たのだなあと思います。そう感じた理由はまずひとつに私の祖父がこの太陽と緑の会の創設者である近藤先生を先生と呼んで慕ってたことです。母と話している時にこのことが分かったのですが、その時はさすがにビックリし、やっぱり縁があつたのだなあと感じました。また、自分の人生を振り返った時にここまではレールに乗ってきたなあと感じます。実は高校卒業後、花屋に就職し約8年働いた後、徳島市の粗大ゴミの収集のバイトを経てここに来たのですが、全然違う異なる二つの分野での経験がなんと両方とも回収活動なので生かされているのです。ちょっとオーバーかも知れませんが職歴はここに来るために必要だった経験をする為のものだった気がします。そしてここに来てから約10ヶ月経ちます。この太陽と緑の会の活動内容が分からないままのスタートした頃よりは、ほんのビビたる例えるなら1ミクロン程度はこの活動が分かってきた気がします。これからは少しずつではありますが活動範囲を広げていき、自分の個性を生かした自分にしかない色を大切にしながら少しでも早く1人前のスタッフになれるよう、カメミたいなマイペースでさらに天然ボケな私ですが、自分なりに頑張っていきたいと思います。他にもいろいろ書きたいことがあります。今回はこの辺で終わりたいと思います。書き足りない文はまたの機会に書きたいと思います。いつになるかわからないけど・・・

文 桑内 一典

月の宮日記その3



<皆で育てました>
農薬、化学肥料は全く
使っていません。

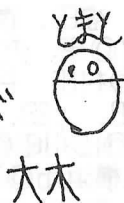
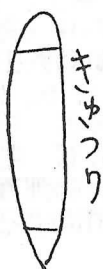
障害者地域共同作業所
太陽と緑の会月の宮作業所
TEL FAX 088-644-0171

寒さもだいぶおさまい、次第に春の暖かさになりました。月の宮の桜も芽がふき始めてき、畑にも草がふえて景色が変わってきてつつあひます。去年植えた、タマネギもだいぶしっかりしてきて収穫が楽しみです。

今月は、夏野菜の準備です。苗床で、カボチャ 冬瓜などの種をポットに植えました。これから、スイカ ナス ピーマンなどの野菜も植えていく予定です。月の宮の畑でとれる野菜は、無農薬 有機栽培で行っているため気候や天候によって、たくさんとれる時とそうでない時があります。月の宮では野菜だけでなく、ニワトリも飼っているのですが、今年は卵がたくさんとれました（月の宮の卵は有精卵で、国府の作業所で1個30円で販売しています）。ニワトリは、通常寒くなると卵を産む回数が減り、暖かくなると産む回数が多いです。

それでも、ウツクケイで45日で1個、チャボ アメリカ種で1日1個がせいせい（月の宮では卵をよく産む白色レグホンはいません）。市販の卵と比べて、殻がたく黄身がしっかりしているのが月の宮の卵の特徴です。そんな貴重な卵が、今年はたくさんとれたので是非、みなさんに食べてもらえたらと思っています。

文 益田



月の宮作業所について

場所は徳島市郊外の入田町月の宮に位置し、平成元年、太陽と緑の会第2作業所計画に着手、月の宮旧豚舎(昭和55年太陽と緑の会建立)に改良を加え、東面の山を切り崩して平坦な土地を作り、畑作りなどを開始、平成12年7月に新たな作業所として立ち上げる。

活動方針

身体障害、知的障害、精神障害など様々なハンディを持つメンバーが自宅、施設、病院、共同生活棟などから通って来る作業所です。農作業、自然養鶏、自転車リサイクル、昼食作り等を通じてその人なりの可能性を模索しています。

一般市民の方の出入りが多いリサイクル作業所では「活き場所」を見出しにくいメンバーや、導入・またはリハビリ段階にあるメンバーのために、山に囲まれた豊かな自然の中で、じっくり落ち着いて作業に取り組める場所として活動しています。

活動時間 10時～16時

活動日 週5日(日曜日と水曜日は休み)

(メンバーによって時間、活動日は異なります)

1日の流れ

9時 国府のリサイクル作業所から月の宮作業所まで車で送迎。月の宮作業所に直接行くメンバーは9時30分に月の宮作業所に集合。

9時30分 朝ミーティング 食事作り準備

10時 作業開始 12時 昼食、休憩

13時 作業開始 16時 終了 車でリサイクル作業所等へ送迎

月の宮作業所では、ボランティアさんを募集しています！

活動内容 無農薬農作業・自然養鶏・昼食作り

活動場所 徳島市入田町月の宮227-39

希望日時 月・火・木・金・土曜日の9:30～16:00

週に1回でもかまいません、時間は相談に応じます。中学生以上で、メンバーと関われる方を募集しています。

お問い合わせ Tel 088-644-0171 担当 益田

太陽と緑の会の活動を支えて下さっている皆様

§ 2003 年 12 月 21 日～2004 年 2 月 20 日 § (紙面の都合上、敬称は省略させていただきます)

*お詫び こちらの不手際で持込カード・回収カードを紛失してしまったため、ご協力いただいた方のお名前を一部記載させていただく事が出来ませんでした。心よりお詫び申し上げます。

不用品を持ち込んで下さった方々

◎徳島市◎法土、ハイカラさん、梶尾、金沢ガラス、宮崎、大野、宮田薬局、山口、井口、真鍋、山本、近藤、江本、藤本、平尾、千秋園、酒井、松本、原田、竹宮、小松、江島、田中、鈴江、秋田、板東、田村、近藤、工藤、杉岡、大島、佐藤、成瀬、鈴木、豊田、バルネケ、粟飯原、平尾、笠原、田中、丸岡、みちこ美容室、山口、森内、西条産婦人科、牧本、米沢、曾我、木内、福井、折口組、相原、徳田、カットサロン岸本、曾我部、一丸、志摩、結城、矢野、天野、長田、原田、住谷、福田、小山、竹岡、松本、阿川、末広ボール、田村、渡辺、大塩、佐藤、岡本、東条、斉藤、牛尾、金田、内山、村上、殿井、広瀬、阪口、松浦、渡辺、横山、坂井、斉藤、讃岐、岩崎、駿地、岩田、佐藤、シャレート、石井、川口、後藤田、椎野、小松、安田、丸山、桜木、井内、石井、池田、平尾、吉村、谷、徳島県国際交流協会トキア、前川、長谷川、佐々木、ひまわり園、真鍋、佐名木、松田、福井、池田、後藤田、横山、吉田、野村、岡本、入野、小高、工藤、松田、久米、笠井、木村、坂井、板東、西岡、樋田、三木、土井、坂東、福田、泉村、中村、川越、藤岡、宇野ビル、梅本、城西病院、吉村、住友、島津、板東、花畑、林、竹島、池添、パソキュー、戸田、前川、山下、入野、佐藤、中山、上田、鎌田、杉本、徳島県立軽費老人ホーム、岩見、高渡、宇都宮医院、三木田、野口、トラスト、Dコム、谷崎、高橋、佐藤、正木、久米川、織、池満、松浦、皆本、山崎、津田、ユートピア八幡、林、木内、藍原、青木、切建、鮎合、浅石、蒲田、大山、宮城、多田、金丸、西岡、小西、土井、田中、松田、相原、大野、東◎石井町◎武市、桜井、坂本、吉成、寺沢、佐藤薬品◎石井町◎大石、中田、新居◎藍住町◎瀬川、扶川、林、芥川、山口、西村◎板野町◎石川、吉田、山谷、井上、中村、宮田◎上板町◎藍里病院、安田◎上板町◎大石、セシール美容院、木内◎鳴門市◎樫本、松永、半田、渡辺、桂、久龍、長浜、渡辺、鳴門市第一小学校、石橋、石川、水野、清水、長松、清水、池田◎小松島市◎松本◎応神町◎滝口◎松茂町◎浜田、日下

不用品を回収させて頂いた方々

◎徳島市◎横田、藤並、横山、清水、濱口、中村、長尾、林、長尾商事、漆原、橋本、浅石、藤川、前田、中村、一番町電化、多田、広田、長谷川、久次米、福井、三木、森口、滝山、森、内田、墨地、桂、木下、浜野、中村、三枝、中村、和田、志摩、佐藤、多田、久次米、小林、樫下、松倉、西川、田和、吉村、馬場、久米川、鈴江、桑原、野々宮、菊地、宮本、吉野、照本、加藤、黒田、野々瀬、大山、沖津、津田、重弘、佐藤、和田、中園、山田、東、長谷川、加藤、板東、萬玉、浅野、川崎、佐藤、笠谷、知野、川人、伊藤、景行、仁木、黒田、木村、細川、山口、中野、浅尾、坂東、井上、平山、吉村、原田、池田、田中、伊原、片山、笹田、大西、木村、梶原、吉村、新谷、阿部、中村、長尾、中村、日下、福田、ナガサキ屋、栄光商事、三村、富田、杉本、新居、寺西、原田、三木、桑原、山城、豊栖、大野、清重、高橋、富永、日和田、野田、石原、南、山根、吉村、井上、大黒、柿原、白石、中島、野口、三木、佐藤、江崎、芳岡、山口、和田、猪本、品川、田尾、桑原、名田、増岡、橋、宮崎、川人、立道、都筑、新開、室、大岩、三木、佐藤、新開、折上、中島、三笠、山口、藤原、井上、佐藤、播、下塚、吉岡、相原、住友、平田、朴、松浦、佐々木、元淵、村田、バーバラ、白木、藤澤、東、柏原、竹田、武田、藤坂、樋田、植田、斉藤、山下、大村、米沢、佐藤、山口、上原、谷川、坂本、武田、森北、香川、川西、三嶋、桑原、田中、大塚、片山、田中、西、高田、坂口、津田、上倉、武田、鎌谷、山口、谷、藤本、滝山、福田、竹内、古川、金沢、高木、高橋、西尾、上田、河野、岡田、杉平、山崎、除、粟谷、林、仁木、谷口、松永、山下、梅本、植田、杉浦、佐藤、川端、佐藤、佐藤、板東、高木、滝山、美馬、秋田、坂東、片山、近藤、和田、高橋、滝山、小松、加藤、山根、佐藤、大島、伊藤、粟飯原、相原、入野、原、志摩、高橋、殿井、阪口、武市、渡辺、岸本、川端、米原、戸田、山口、藤田、伊藤、坂東、西尾◎鳴門市◎木下、井上、坂本、元木、尾崎、河野◎小松島市◎東條、宮田、小川、古川、林、杉野、蟻井、島田、徳本◎板野町◎石川、吉田、山谷、井上、中村、宮田◎阿南市◎保田、平尾、佐野商店、平尾◎石井町◎古高、藤川、秋山、桑原、石井(有)チャイルド社、新居、堀、鈴江、香川、児島、桑平、住友、福田、香川、白木◎鳴島町◎鈴田、中内、長田、岸田、宗本、形山、前田、福田、藤本◎藍住町◎東、佐藤、山田、三好、北岡、佐藤、前川、廣瀬、佐藤◎北島町◎大島、大石、多田◎板野町◎村田、谷村、楠本、西、佐藤、三島、山口◎上板町◎藍里病院、佐野、森内、楠◎土成町◎尾田、上田、天野◎阿波町◎牧原、匿名◎日和佐町◎ボデブフ・ジェフ◎美郷村◎加本◎海南町◎東◎山川町◎吉田、井内、大坪◎那賀川町◎玉田◎松茂町◎BERRIDGE ROWAN◎◎勝浦町◎今山◎横浜市◎高坂、宇山◎京都市◎福田、井上、木村、渡辺◎埼玉県◎本田◎佐那河内村◎滝倉◎松山市◎浜田

寄付して下さった方々

◎徳島市◎森 ¥15000、秋田 ¥2000、三木 ¥1000、松本 ¥5000、樋田 ¥3000、匿名 ¥3000、匿名 ¥1000◎鳴門市◎米田 ¥3000

不用品を持って来て下さった方には、持ち込みカードへの記入をお願いし、当会の機関紙をお渡ししていますが、ここでご紹介させて頂いているお名前は、そのカードに基づいています。「名前は結構です」と言われて置いて行かれた方、何度も持って来て頂いた方も多数おられ、実際の不用品の引取件数は、ここでご紹介させて頂いた人数の3倍くらいあります。また徳島県外から持って来て下さった方、「捨てるにはしのびないから」とわざわざ郵送で送って下さった方もおられました。なお、厳重にチェックしておりますが、万が一お名前の書きもれ、書き間違いなどございましたら、ご一報頂ければ幸いです。

NPO法人太陽と緑の会の活動は、一般市民の方のご支援、ご協力によって支えられています。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。

メンバー投稿コーナー

忘年会

大和麻耶

忘年会は月の宮で、ありました。第23期（日本奉仕協会）樋詰君は、北海道出身です。

鮭を、送ってくれました。石狩鍋をしました。かくテーブルには、5つ ぐらいの鍋が、ありました

私は、加藤さんと、小山さん、上藤さん、柴野さん、と 一つの鍋でした。石狩鍋の中には、鮭

しいたけ、はくさい、など が、たくさん はいって いました。

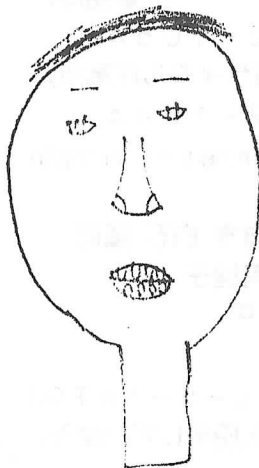
最後には、いつも メンバー、

スタッフが、期待している 三木さんの（奥さん）の ケーキ が ありました。いつも私ものしみにして

いまも、いつもおき、ケーキ、ありがとうございます。おいしいよ～◆

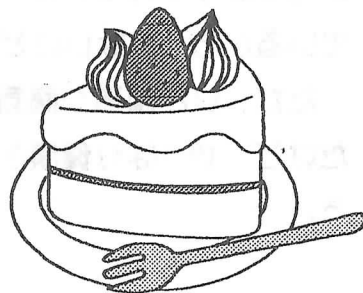


上戸 彩 藤田
絵よしひこ



ぼくらはみんな
11月7日から
うたうんだ
きみがーよーは
ちよに11やちよに
すたれ

えーおあき



編集後記

恒例の風邪ラッシュ

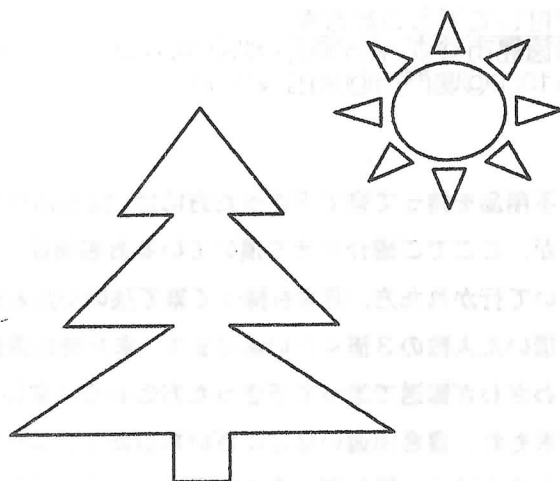
毎年この時期になると、メンバー、スタッフ含め、日頃の疲れも溜まっているのか、数人の人が風邪でダウンしてしまう。昨年はインフルエンザの人もいて、短い人で一日から二日、こじらせてしまった人で一週間程度の休養を余儀なくされた。

今年はまだインフルエンザの人はいないものの、一月から二月にかけ、短い人で二日程度、長引いた人だと十日以上寝込んでしまった。昔から風邪は万病の元とされているように、初期の段階で処置を怠ると、とんでもない事に成りかねない。確かに最近では香港におけるサーズ問題や、タイの鳥インフルエンザ騒ぎもあり、風邪といっても軽くは見れないのだが……。

とにかく疲労の蓄積や、その人なりの抵抗力の差はあるにせよ、出来る限りの予防と初期段階での適切な治療を行えば、インフルエンザでもない限り、まあ、そんなにこじらせてしまう事は無いと思う。こんなこと言っているながら、私もあんまり体は強い方ではないので、二、三日後には寝込んでいるかもしれないけど……（笑）。

ただ、いざ風邪や病気になると思うことだけど、やっぱり健康が一番の財産だと思う。

文 白石



特定非営利活動法人 太陽と緑の会

私たちは生態系のリサイクルを含めたリサイクル・リユース活動を、様々なハンディーを持ったメンバー達の障害者地域共同作業所(2箇所)とリンクさせて、行っております。地域の中で「人も物も活かされる街造り」をテーマに、ハンディーのあるなしにかかわらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指して、様々な方々(一般市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら、年間300日、土、日、祭日を含めた、日常活動を行っております。

発行：特定非営利活動法人 太陽と緑の会
〒779-3120 徳島県徳島市国府町南岩延
字小原 107-1

TEL 088-643-1054
(事務局)

088-642-1054
(リサイクル作業所)

FAX 088-642-1054

URL <http://www2.ocn.ne.jp/~t-midori/index.htm>

代表理事 杉浦 良 編集 白石 隆信

編集サポート 木村 有理子

年会費：正会員 10,000 円

準会員 1000 円

郵便振替口座：01620-8-44703

※この機関誌は再生紙を使用しています。